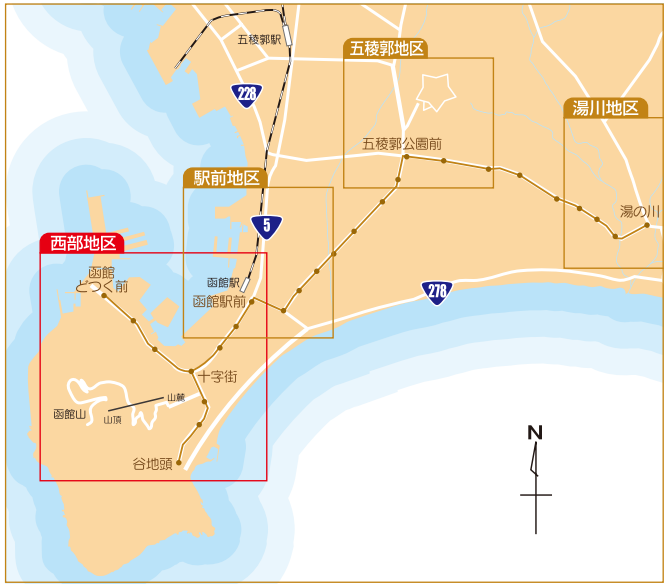
函館 まちあるきマップ 11

きらめきのライトアップ 古き住き函館編
～浪漫函館 光のプロムナード～

所要時間 70分　距離 1.7Km　消費カロリー 210kcal

- 北海道第一歩の地碑（旧桟橋）
- 函館市文学館（旧第一銀行函館支店）
- 函館博物館郷土資料館（旧金森洋物店）
- 現株式会社エスイーシー社屋（旧第百十三国立銀行）
- 赤レンガ倉庫群
- はこだて明治館（旧函館郵便局）
- 地域交流まちづくりセンター（旧丸井今井百貨店函館支店）

函館全体エリアマップ



西部地区

スタート地点までのアクセス

JR函館駅から1.7km（徒歩25分）
市電（函館駅前より函館どつく前行き）7分

函館 知ってる？ 知ってる？

函館の坂～日和坂～

空模様がよく判断できたことがこの坂名の由来と考えられていますが、実際の由来についてははっきりと分かっていません。この坂名が定着する以前には、坂の上の部分だけを指して「トビ坂」という名称が付けられていました。“トビ”とは鳥のトビで、天気の良い日にはトビの飛ぶ姿が良く見えたことから、ともいわれています。“日和”も“トビ”も、その名称には天気が関係しているのではないかと考えられています。坂は急な勾配となっていますが、その分景色が良く、坂の上にある船魂神社あたりからは函館港や市街地を一望することができます。

函館市電路線図

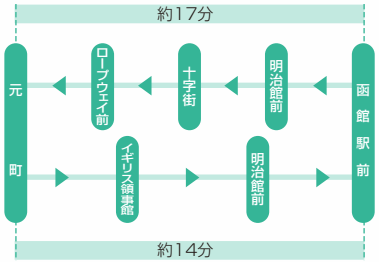
湯の川～十字街間は6分間隔で運転しています。

乗車料金のお支払いには nimoca, Kitaca, Suica, など各種交通系 IC カードがご利用いただけます。

お得な！ 市電1日乗車券販売中！ 大人600円・小人300円
お求めは車内のほか、沿線のコンビニ、ホテルなどでどうぞ！

[函館市企業局] 函館市駒場町15番1号 TEL.0138-32-1730
https://www.city.hakodate.hokkaido.jp/bunya/hakodateshiden/
ケータイから各電停の時刻表も見られる！

「元町・ベイエリア周遊号」 元町観光にとっても便利な循環バス（バス停は主な停留所を記載）
「元町・ベイエリア周遊号」をご利用下さい。



大人210円・小人110円

函館バス 1日乗り放題券 バス車内にて販売中！
大人800円・小人400円

[函館バス株式会社]
函館営業所／函館市高盛町10番1号
TEL.0138-51-3135

函館市公式 観光情報サイト “はこぶら”
https://www.hakobura.jp/

フェスティバルタウンはこだてサイト
函館イベントガイド HAKODATE EVENT GUIDE
https://event.hakobura.jp/

発行・お問合せ先
HAKODATE 函館市観光部 〒040-8666 北海道函館市東雲町4番13号 TEL.0138-21-3383

（2020年1月発行）

きらめきのライトアップ 古き住き函館編 ～浪漫函館 光のプロムナード～

所要時間 70分　距離 1.7km　消費カロリー 210kcal　※消費カロリーはおおよその目安です。

スタート！ 末広町電停（函館駅前から1.7km 市電／7分 徒歩／25分）
→ 160m 3分 → 1 北海道第一歩の地碑 東浜桟橋（旧桟橋）※工事中
→ 160m 3分 → 2 函館市文学館（旧第一銀行函館支店）
→ 150m 3分 → 3 函館博物館郷土資料館（旧金森洋物店）
→ 110m 2分 → 4 現株式会社エスイーシー社屋（旧第百十三国立銀行）
→ 340m 6分 → 5 赤レンガ倉庫群
→ 270m 5分 → 6 はこだて明治館（旧函館郵便局）
→ 460m 8分 → 7 地域交流まちづくりセンター（旧丸井今井百貨店函館支店）ゴール!!

1 北海道第一歩の地碑 東浜桟橋（旧桟橋）※工事中

明治維新後、北海道の入口となった函館に本州の人々が上陸し、第一歩を記した場所。錨と熊をモチーフにした彫刻は、昭和43年（1968）開道100年を記念して建立された。海を背景に鮮やかにモニュメントが浮かび上がる。

※2018年10月～2020年3月（予定）整備工事に伴い一時撤去

2 函館市文学館（旧第一銀行函館支店）

旧第一銀行函館支店の建物で、平成5年（1993）4月に文学館として開館、石川啄木や函館ゆかりの作家の残した原稿や作品などを展示。中央を照らす青いライトが印象的。

開館 9:00～19:00（11～3月は17:00）
入場料 大人300円　休 年末年始、展示替え時

3 函館博物館郷土資料館（旧金森洋物店）

明治13年（1880）渡辺熊四郎によって建造されたかつての金森洋物店。昭和38年（1963）道指定有形文化財に指定され、同44年（1969）市立函館博物館郷土資料館として開館。当時の金森洋物店の帳場の再現や、パネルや模型で明治期の商家の様子を伝えている。漆喰の白壁にブルーの装飾がライトアップにより美しさを増している。

開館 9:00～16:30（11～3月は16:00）
入場料 大人100円
休 毎月曜・毎月最終金曜日・祝日・年末年始・展示替え時

4 現株式会社エスイーシー社屋（旧第百十三国立銀行）

旧第百十三国立銀行は明治11年（1878）函館で設立され、北海道に初めて本店を置いた銀行。現在の建物は昭和元年（1926）に旧第百十三銀行として建設された鉄筋コンクリート3階建ての建物で、古典建築と近代建築の様式が組みあわされ、洗練されたデザインとなっている。正面からの白いライトにより、コンクリート建築をきわ立たせている。

5 赤レンガ倉庫群

ベイエリアの象徴的な存在の赤レンガ倉庫群。地元では「金森倉庫」と呼ばれ親しまれている。函館で初めて倉庫業を始めた渡辺熊四郎が、明治42年（1909）煉瓦造りの倉庫を建てた。現在も倉庫のほか、個性的なショップや飲食店として活用されている。建物だけでなく街路も賑やかにライトアップされており、歩くだけでも楽しい気分にさせてくれる。

6 はこだて明治館（旧函館郵便局）

明治44年（1911）に煉瓦造りの耐火建築物として完成した旧函館郵便局。現在は、土産品などのショッピングモールとして活用されている。煉瓦造りの建物がシックにライトアップされている。

7 地域交流まちづくりセンター（旧丸井今井百貨店函館支店）

大正12年（1923）創建の丸井今井百貨店函館支店の建物を、外観を残しながら建物の保全・改修を施し再生。市民活動の支援や、市民交流の場、地域情報の発信拠点となっている。往時の賑やかさを彷彿させる見事なライトアップ。

開館 9:00～21:00　休 年末年始